

# 2019 年度

## 男子第 45 回・女子第 44 回 バスケットボール滋賀リーグ

### 参加申し込み要項

2019 年 1 月 20 日(日)  
(一社)滋賀県バスケットボール協会  
滋賀県社会人バスケットボール連盟

主催：一般社団法人滋賀県バスケットボール協会

主管：滋賀県社会人バスケットボール連盟

#### (1) 開催期日

2019 年 4 月 ～ 12 月

※日程は参加申し込み締切り後、滋賀県社会人バスケットボール連盟にて決定します。

2019年度 滋賀リーグ開催予定日 (原則、日曜日での開催予定)

前期 4月初旬～7月初旬までの日曜日

後期 8月下旬～12月下旬までの日曜日

ただし、体育館の確保状況や社会情勢等により、上記期間以外の日曜・祝日や土曜日に開催する可能性もあります。

#### (2) 参加資格

- ・ 期日までに参加表明用紙の提出および日本協会登録・参加費の納入ができるチーム。
- ・ 大会運営規定を遵守し、滋賀リーグの大会運営に協力できるチーム。
- ・ 会場でのマナー向上に協力できるチーム。
- ・ 県協会・各連盟の運営にも協力できるチーム。

これらの条件を満たせないチームには、登録抹消や次年度以降の登録を認めない等の対処を行います。

- ・ 選手はすべて日本協会に登録されるため、他チームとの二重登録は認められません。また、一旦チームに登録された選手は、年度内(4/1～3/31)は他のチームへの移籍は出来ませんので、必ず各選手に参加の意思を確認の上、登録してください。

高校、専門学校、大学で登録していた選手がチームを引退しても年度内は滋賀リーグ参加チームへの移籍は認められません。

- ・ 登録の人数は制限しませんが、各試合へのエントリーは選手 15 名以内とします。  
また、主たるメンバーが県内在住・在勤・在学など、チームの活動拠点が滋賀県内にあると判断できないチームに関しては登録を認めません。
- ・ チーム責任者は原則として 1 年間を通じて 1 人が責任を持つようにしてください。また、帰省などのため長期に留守になるような可能性のある人は避けてください。

### (3) ユニフォーム

濃淡2色のユニフォーム(淡色は原則白)を用意し、全員が同色・同形のものを着用すること。上着の裾がパンツに入らないリバーシブルのユニフォームについては、作成を控えてください。(上着をパンツに入れられないなどの理由から上部大会で使用できないことがあるため。)

アンダーガーマントは原則としてユニフォームと同色のものとしてください。サポーター、ロングソックス等の色も原則同様にしてください。やむを得ない場合は黒またはチームで色を揃えるようにしてください。

新規登録チームまたはユニフォームを新調する場合の背番号については、原則として4番からの連番(15名以内のエントリーの場合、4~18の範囲)としてください。

ユニフォームのパンツの丈の規定が近年変更され、膝頭が見える長さでないと県外大会に出場できない状況になっています。近畿大会以上に出場希望のチームは対応してください。(対応できない場合、成績上位であっても県外大会に推薦しない場合があります。)

### (4) 帯同審判員

1 チーム2名以上、必ず登録すること。グレーの審判着の上衣とホイッスルは必ず用意すること。本部からは貸し出しません。帯同審判員は必ず審判着を着用すること。

帯同審判員の登録のないチームは参加できません。

また、2019年度中に、少なくとも1名以上のE級審判員をチームに所属・帯同させること。

既にE級1名以上の所属があるチームは、複数登録を進めること。

### (5) 参加申込み方法

チーム名、チーム責任者の必要事項を記載した**参加表明の申込書**を、下記の連絡先まで **メールで送付** してください。滋賀リーグHPのパソコン版ページに申込用紙のエクセルデータをアップロードします。その様式を用いてメールにて申込みを行ってください。

・滋賀リーグHP(PC版) : [http://shiga-league.com/pc\\_top/index.html](http://shiga-league.com/pc_top/index.html)

・メール申し込み先 : 五十嵐まで (メールアドレスは下記参照)

また、郡市大会や会社行事、チーム内での結婚式など、やむを得ない事情で参加できない日がある場合は、前期は申し込みと同時、後期は7/1までにメールで申し出てください。できる限りの配慮はします。

参加申し込み受付後、リーグ運営委員会で前期日程の作成を行い、組み合わせ日程が完成した段階で前期代表者会議を開催する予定です。今年度の前期代表者会議は、**3/9(土)~3/10(日)、3/21(祝)、3/23(土)~3/24(日)**に予定しています。

(開催できる場合は申込みチームに後日連絡します。)

(開催が叶わない場合は、日程をメール送付することで代表者会議に代えます。)

## (6) 参加申込書の郵送先・メール申込み先

参加申込書は下記の連絡先までメールしてください。

郵送、メール申込みともに締め切りは **2019年2月4日(月)必着** とします。

締め切り日までに申込書が送付されていないチームは期限切れとして参加を認めませんのでご注意ください。

### 社会人連盟

・メール申し込み先：滋賀リーグ競技委員長：五十嵐 慎久

ZXH02133@nifty.ne.jp（「0」はゼロです。）

・メールの題名を「2019年滋賀リーグ参加申込み(チーム名)」としてください。

・メールの本文中に必ずチーム名・申込み責任者氏名も記載してください。

・メール受信後、数日中には受付確認の返信メールを送付します。

## (7) 大会参加費（参加表明後、後日振り込みしていただきます。）

滋賀リーグへの登録に際し、下記の費用が必要になります。H29年度より、日本協会(JBA)へのチーム登録費と滋賀リーグ大会参加費は別納としてもらっています。また、JBA サイドの登録料改訂と社会人連盟の設立に伴い、H30年度から登録料の総額・内訳を変更しています。

JBA + 滋賀リーグ参加費

☆チーム登録費： 社会人連盟 80,000円 (30,000) + (50,000)

チーム登録費には、日本協会・県協会登録費、滋賀リーグ運営費、滋賀県社会人バスケットボール連盟運営費、日本リーグチケット代(負担分)等が含まれます。

☆個人登録費： 選手1人につき3,000円

個人登録費は、日本協会・県協会への選手登録費です。

## (8) 日本協会 (Team JBA) を通じてのチーム登録・参加費振り込み

滋賀リーグへの参加条件として、日本協会・滋賀県協会への登録が必須となっております。各チームで必ず日本協会のシステム (Team JBA) による登録および登録費の支払いを実施してください。2019年度より、新登録システムが運用されるかもしれませんので、登録方法については、日本協会 (JBA) からのメール (昨年度のチーム責任者宛、新規チームには別途メールします) を参照いただき、処理してください。登録案内は、リーグホームページにも掲載します。

上記オンライン登録、振り込み処理の実施開始日～締め切りは、

**3月初旬のシステム運用開始 ～ 4月4日(木)**とします。

今年度も日本協会にオンライン登録されたチームに対して、JBA システムを利用した滋賀リーグの詳細チーム登録・選手登録作業および参加費の振り込み作業を実施してもらいます。

上記滋賀リーグ大会登録、振り込み処理の実施開始日～締め切りも、

**3月初旬のシステム運用開始 ～ 4月4日(木)**とします。

## (9) その他連絡事項

### ・チーム数制限について：

近年、リーグの新期登録チームおよび参加取りやめチームの状況が毎年めまぐるしく変化しています。体育館情勢も年々悪くなっており、依然として無制限の受け入れは厳しい状況が続いているということで、原則として男子 85、女子 25、計 110 のチーム数制限を設けています。

次年度も新期の参加希望チームが上記制限を上回る場合は、試合数・会場割を検討した上で、全チームの受け入れができない場合には抽選で参入チームを決定します。

### ・指導者資格について：

今後、県内・県外問わず、大会に出場するチームには指導者資格が必須となっています。指導者が不在のチームは、今年度中に県内・県外の講習会含めて積極的に参加いただくようお願いをしておきます。

(成績上位でも公認指導者が不在のチームは、県外大会への推薦を行わない場合もあります。)

日本協会では、平成 27 年度以降、公式戦には原則として各チームに何らかの指導者資格を保有したコーチの配置を義務化する方針で取り組みを行っています。別添資料を参考に、2019 年度中にチームに E 級以上の指導者を必ず帯同させること。

以 上



# 2019 年度 滋賀リーグ チーム役員の依頼について

2019 年 1 月 20 日(日)

滋賀県社会人バスケットボール連盟

表記の件につきまして、H23 年度から各チームより 1 日につき 2~3 名の方にリーグ運営のお手伝いをお願いしています。次年度のリーグ内でも役員当番をお願いする予定ですので、ご協力をお願いします。

リーグの役員当番については、後日配布する割り当て表にチーム名が記載された日に、終日・各チーム原則 1 名の役員出席をお願いします。役員当番の方には当日の昼食代 (500 円) と日当 (1,000 円)を支給します。(なお、試合の組合せ等の都合により、年間 1~2 回前後の割り当てとなる場合があります。)

役員当番として当日していただく仕事としては、主に下記の内容になります。

## ■当日役員としての受付

○まず、当番の日の朝、**会場準備開始時間の 10 分前に**、大会本部に集合してください。

## ■当日の会場設営および片付け

○当日の開場後、各コートの第一試合の両チーム・T0 チームを中心とした会場準備（コート作り、リング設置、ベンチ設営、T0 用具の準備など）の指揮。

○当日の全試合終了後、各コートの最終試合の両チーム・T0 チームを中心とした会場片付け（コート・リング・ベンチ・T0 用具の撤収など）の指揮。

○全体の片付け終了後、フロア・観客席・更衣室・便所・自動販売機・ゴミ箱周辺などの見回り。  
(忘れ物のチェック・ゴミの処理)

## ■当日の大会運営の補助

○各コート・各試合の試合球の準備・管理。

○各コート・各試合の終了後、スコアシートの回収・管理。

○スコアシートの回収後、大会結果報告書と掲示している星取り表への結果の転写。

○以下の注意点などについて、各チーム・選手に指導・協力をお願いします。

- ・土足エリアについての指導
- ・更衣室以外での更衣の禁止
- ・ペットボトルの持ち込み禁止やゴミの持ち帰り
- ・ベンチ内への登録メンバー以外の着席禁止、家族・乳幼児などの観客席への移動
- ・ハーフ・次試合で待機する選手は、直前(5分前)まではフロアではなく観客席で待機

○その他、当日のリーグ運営委員と調整し、当日の試合運営に必要となる庶務にあたってください。

各チームの皆さんに運営役員を手伝っていただき、リーグ運営の仕組みや流れを知っていただくことにより、よりスムーズなリーグ運営・リーグ全体のマナーアップにつなげることが目的です。

各チームから積極的にご協力いただけるよう、よろしくをお願いします。

以 上



# 2019年度からのコーチライセンス制度改定のご案内

## コーチライセンス制度改定の趣旨

コーチライセンス制度は、コーチライセンスを取得することによって、コーチに必要な知識・能力等を身に付け、プレーヤーにとって安心、安全な環境を構築すること、また、バスケットボールをはじめとしたスポーツの楽しさを広げていくこと、さらには人間力・競技力の向上に寄与することを目的としています。

より多くのプレーヤーがバスケットボールを通じて楽しさを感じ、また、人間として、プレーヤーとして成長できるような環境を作るためには、コーチ自身が人間力を高め、プレーヤーやチームの状況、ニーズに応じて適切な支援をすることが必要です。

また、残念ながらバスケットボール界においては、指導現場における様々な問題（暴力・暴言・ハラスメント等）があるのも事実であり、そういった意味でもバスケットボールの知識だけでなく、人間力を備えたコーチの養成が求められています。

このような現状の課題を解決し、よりよいコーチを数多く養成していくために、2019年度よりコーチライセンス制度の改定を行います。

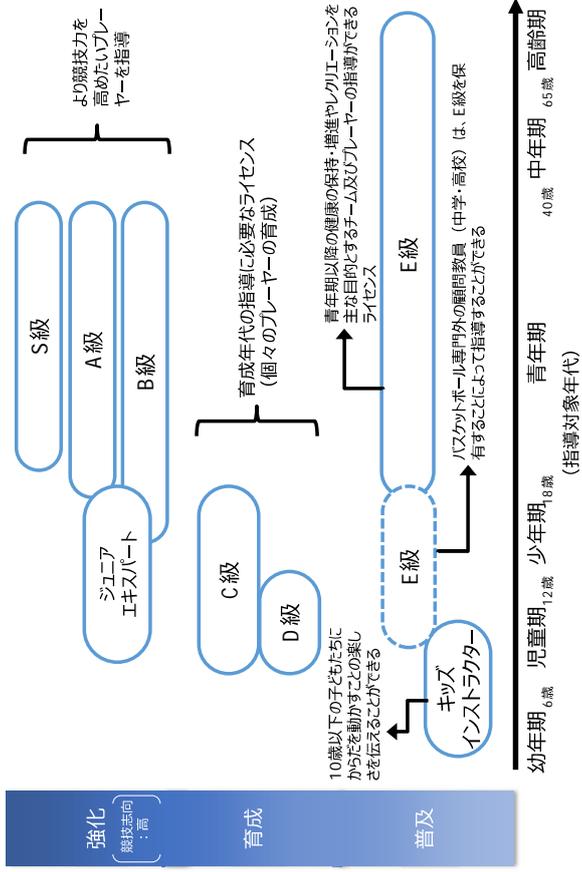
## 主な改定内容

- ① **ライセンス区分の再設定とカリキュラムの見直し**  
指導対象レベルや年齢に対応し、プレーヤーの安心・安全を確保するためにE級永年制を撤廃（E級の有効期間は4年間に）、コーチが習い学び続けることを促進するために、ライセンス別に必要カリキュラムポイントを設定（2023年度より適用）
- ② **E級・B級・C級コーチ養成講習会の再編**  
日本スポーツ協会との登録管理・窓口一本化に伴い、共通科目・専門科目を一体的に実施（B級では集合講習日数を短縮して取得可能に）
- ③ **E級永年制の廃止 & リフレッシュポイントの見直し**  
技術・戦術・指導方法等の変化に対応し、プレーヤーの安心・安全を確保するためにE級永年制を撤廃（E級の有効期間は4年間に）、コーチが習い学び続けることを促進するために、ライセンス別に必要カリキュラムポイントを設定（2023年度より適用）
- ④ **E級・B級・C級コーチ養成講習会の開催**  
ライセンス区分とカリキュラムの京直しに応じ、C級コーチ養成講習会を集合講習にて開催（日本スポーツ協会の制度改定にも対応）
- ⑤ **ジュニアエキスパートの新設**  
育成環境を充実（個人の将来性を重視）するために育成世代に特化したライセンスを新設  
→ スターやU15・U18のクラブチームのコーチや育成センターのコーチ等に対応
- ⑥ **キッズインストラクターの新設**  
まだバスケットボールに触れていない子どもたちからだを動かすことの楽しさを伝えることができ、さらにカリキュラムを作成し、それを実施できる人材を養成

- ⑦ **E級・E-2級・E-1級への導入**  
コーチにとって最低限身に付けておくべきことをより学びやすくするために新E級を設置し、eラーニング方式の受講に必要（E-1級・E-2級⇒E級に一本化）
- ⑧ **C級コーチ養成講習会の開催**  
ライセンス区分とカリキュラムの京直しに応じ、C級コーチ養成講習会を集合講習にて開催（日本スポーツ協会の制度改定にも対応）
- ⑨ **コーチデベロッパーの養成**  
知識や技術・戦術の指導力だけでなく、人間力を兼ね備えた指導者を養成するための人材を養成（C級・D級コーチ養成講習会の講師を担当）
- ⑩ **ジュニアエキスパートの新設**  
育成環境を充実（個人の将来性を重視）するために育成世代に特化したライセンスを新設  
→ スターやU15・U18のクラブチームのコーチや育成センターのコーチ等に対応



## 新ライセンス体系（指導対象と必要なライセンス区分）



## 各ライセンスの概要

	E級コーチ	D級コーチ	C級コーチ	B級コーチ	A級コーチ	S級コーチ	ジュニアエキスパート	キッズインストラクター
講習会開催団体	JBA	都道府県協会	都道府県協会	JBA	JBA	JBA	JBA	JBA
開催頻度 (年)	随時	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回	1回以上	1回以上
受講条件 (※1)	15歳以上	E級保有者 18歳以上	D級保有者 18歳以上	C級保有者 22歳以上	B級保有者 22歳以上	A級保有者 22歳以上	B級保有者 22歳以上	15歳以上
講習時間	(eラーニング) 13.5時間 (2日程度)	20時間 (3日程度)	20時間 (2日程度)	5日程度	8日程度	※4	8日程度	半日程度
受講料	2,160円	12,960円	16,200円	43,200円	54,000円	270,000円	86,400円	2,160円
受講有効期間	※3	2年	2年	1年	1年	※4	1年	1年
登録料/年 (※2)	1,000円	3,000円	4,000円 (1,500円)	5,000円 (2,500円)	6,000円 (3,500円)	12,500円 (10,000円)	S級～B級登録料 +5,000円	-
資格有効期間	4年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	5年
更新に必要ポイント	-	2ポイント	4ポイント	6ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	-
日本スポーツ協会における資格名	-	-	コーチ1	コーチ3	コーチ4	コーチ4	コーチ4	-

(※1) 年齢は受講年度の04/1現在。S～B級以上の受講条件の詳細は別途定める。(※2) eラーニングの受講有効期間はeラーニングシステムに合わせ調整中。(※3) E級のみの年分。C～S級は日本スポーツ協会年分を含まず表示。 (※4) S級コーチの講習時間、受講有効期間は様子中。2020年度までは ( ) 内の金額をJBAにて徴収。





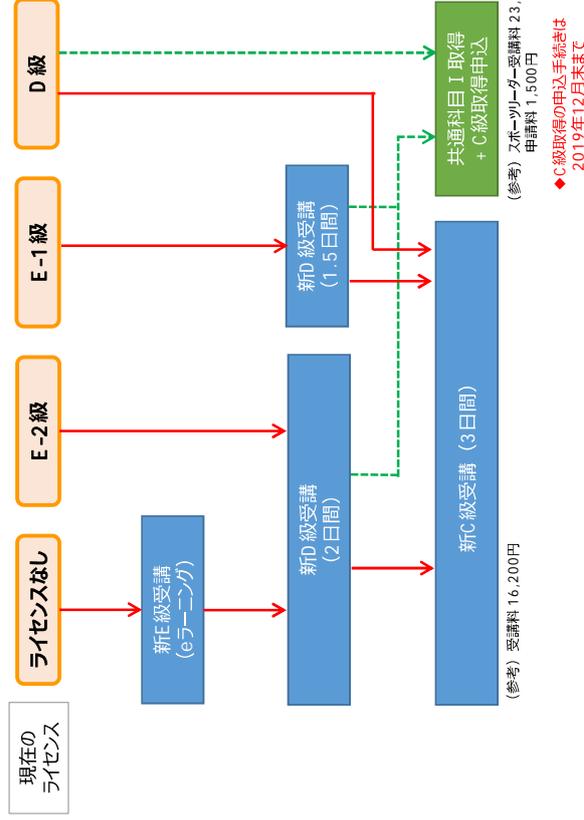
## C級コーチライセンスの取得方法について

A級～C級以上のコーチライセンスは日本スポーツ協会との協同認定資格であることから、これまでは「共通科目」および「専門科目」の講習会がそれぞれ別々に開催されてきました。

2018年度からバスケットボールのコーチライセンスに関する登録管理・窓口をJBAと日本スポーツ協会の二本立てからJBAに一本化したことから、今回の制度改定により、共通科目・専門科目を一体的に実施することになりました。

これまでD級コーチ取得後、通信教育等で「共通科目Ⅰ」を修了し、C級コーチを取得することとなりましたが、制度改定により、新たに「C級コーチ養成講習会」を開講いたします。

ただし、移行措置として2019年12月まで「共通科目Ⅰ」の修了による免除申請を認めます。



### 【補足】

- ▶ 共通科目Ⅰを取得する場合、NHK学園のスポーツリーダーを受講・修了してください。  
なお、2019年12月までにC級取得申込をする場合、冬期コース（申込受付：2018/11～2019/1/25）または春期コース（申込受付：2019/2/1～4/25）の受講が必要です。

- ▶ D級コーチ養成講習会受講前でもスポーツリーダーの受講申込は可能です。

- ▶ 次の①～③のいずれかに該当する場合は、スポーツリーダーを受講せずにC級取得申込をすることができます。

- ①スポーツ少年団「認定員」資格を取得した場合（認定証を持っている場合）
- ②大学や専門学校等の免除適応コースで「共通科目Ⅰ 修了証明書」を持っている場合
- ③他競技の「指導員」資格を持っている場合



## その他特記事項

✓指導対象年代別にライセンス区分を再設計したため、各大会におけるコーチライセンスの要件（基準）も今後見直しされます。（現在検討中）

✓新加井キヨラムの各講習会（eラーニング除く）は、これまでの知識伝達型／一方向的な講習から、受講者参加型／双方向的な講習に変わります。また、各講習会ではワークブックを用いて講習を行います。（事前課題に取り組みながら講習に参加いただくことになります。）

✓コーチライセンスを持っていない場合は、E級→D級→C級→B級→A級→S級と順番に受講・取得していくことになります。  
なお、ジニアエキスパートはB級以上のライセンスを持っていることが受講・取得条件となります。  
また、キッズインストラクターはコーチライセンスを持っていない場合でも受講することができます。



## よくある質問

- Q：E級のeラーニングはいつから受講できますか。また、受講後すぐにE級を取得できますか。  
A：2019年4月から受講可能となる予定です。  
また、eラーニング受講後、試験に合格すれば、その後2日程度でE級の取得（登録）ができるようになる見込みです。
- Q：E級ライセンスを継続するためにはどうすればよいですか。  
A：E級eラーニングを受講することでE級を継続することが可能になります。  
（eラーニングの内容は2年に1回程度更新予定です。）
- Q：キッズインストラクターはどれでも受講できるのですか。  
A：受講年度の4/1現在で15歳以上であれば受講することができます。  
他のコーチライセンスを取得している必要はありません。
- Q：キッズインストラクターの資格を取れば12（三）のチームの指導ができますか。  
A：キッズインストラクターはチームを指導するための資格ではありません。キッズインストラクター講習会では、保育園・幼稚園・小学校の訪問やキッズ向けイベントなどの子供たちを夢中にさせるメニューや展開方法が学んでいただけます。
- Q：B級コーチを取得したい場合はどうしたらよいですか。  
A：B級コーチの受講は都道府県協会の推薦が必要となるため、所属の都道府県に受講希望の旨をご連絡ください。